


年の瀬を迎え、何かとあわただしい12月です。生活リズムが崩れがちで、また感染症もはやる時期です。子ども達にとっては、クリスマスに年末年始のお休みと楽しみがいっぱいです。しかし、不規則になりがちなので体調管理には十分に気を配っていきましょう。


子どものやけど気を付けて！！

寒さが厳しくなるこの時期から多い怪我がやけどです。子どものやけどは大人が気を付ければ阻止できる物です。どんな物でやけどをするのか知って予防しましょう。


炊飯器の蒸気に触れてやけどした



電気ポットのコードを引っ張って倒し、お湯がかかる




食卓に置いた熱い味噌汁のお椀をひっくり返す



(低温やけど)

低温やけどは比較的低温で、だいたい45℃～65℃で長時間接触していると起こります。



こたつや電気カーペットなどで眠ると、汗をかいて風邪を引くだけでなく、低温やけどの原因になります。

熱い物は冷ましてから子どものもとに持って行きましょう。また、抱っこしたまま調理したり、熱い物を運んだりするのはやめましょう。

蒸気が出るものや加熱する電化製品は、子どもの手が届かないところへ置きましょう。また、コードは引っ張ったり、足に引っかかったりしないようにしましょう。

(やけどをした時の対応)

「やけどをした」とわかったらすぐに流水でやけど部分を20分程度冷やします。服の上からやけどした時は、服の上から冷やしてください。**冷やしたらすぐに病院へ行きましょう。「この程度なら大丈夫」と思わずに、病院を受診しましょう。**水ぶくれができた時はなるべくつぶさずそのままの状態にします。



ノロウイルス感染症（ウイルス性胃腸炎）

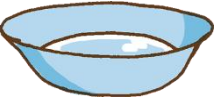
寒くなって流行するのがノロウイルスです。今年は全国的に流行しており、大人・子ども関係なく感染する病気です。家で嘔吐・下痢が発生した場合の対処をお知らせします。

- 1 吐物処理の前に手袋とマスクをつける**

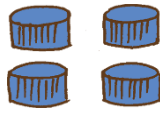
吐物にウイルスが含まれているので使い捨ての手袋や浮遊するウイルスを吸わないようにマスクをつけ、感染を防ぎましょう。
 - 2 換気しながら片付けをする**

吐物を処理する時ウイルスが浮遊するので必ず窓を開け換気をしましょう。
 - 3 消毒液を使用して処理する**

ノロウイルスは次亜塩素酸ナトリウム（商品名：ハイター、ブリーチなど）で死滅します。規定量に薄めます。薄め液を雑巾に染み込ませて吐物を取り除きましょう。




+





**次亜塩素酸ナトリウム原液
ペットボトルのキャップ4杯**
 - 4 吐物の処理した物は、漏れないように処理する**

吐物処理した物は、（吐物、雑巾など）必ず2重にしたナイロン袋に入れて捨てましょう。


 - 5 衣類に付いて汚れたものは？**

次亜塩素酸ナトリウムの液につけ置きして洗うのがベストですが、色落ちします。色落ちさせたくない場合は、85℃のお湯に1分以上つけ置きしてから洗いましょう。


- ノロウイルスは誰でも感染します。特に小さい子どもが感染すると脱水症状を起こす危険性があります。日頃から手洗いをこまめに行い、急な症状に備えて、使い捨て手袋や次亜塩素酸ナトリウムを用意しておくといいです。誰でも感染するウイルスなので、十分気をつけましょう。



塩素系